

# 旭

印刷を支え加工を活かす

## 第2工場 工場長 有松 健二

旭紙株式会社第2工場で工場長を務める有松健二さん。学生時代から旭紙工で働いており、これまでさまざまな業務に携わってきました。そんな有松さんに、印象に残るお仕事や後進に伝えたい思いなどをお聞きしました。



「まずは、入社された経緯を教えてください。」

高校1年生のときから旭紙工でアルバイトをしており、卒業と同時に正社員になりました。就職活動をする意欲がなく、アルバイトに力を入れていたら、当時の折り部門の部長さんが誘ってくださったんです。

「長い間折り部門に勤務されていたのですね。では、これまでの成果を教えてくださいませんか。」

ある旅館のパンフレットを担当したことですね。非常に難しい案件で、ベテランの先輩たちが代々受け持っていたのですが、入社5年目に私が担当することになったんです。

先方は滑りやすい紙とインクを指定しており、蛇腹折りという歪みが発生しやすい折り方だったこともあって、作業難度はかなり高かったですね。しかも、わずか0.5ミリの紙のズレさえも許してもらえなかったので、十分に注意しながら作業を進めました。

以前はどんなに気をつけていても、なかなか完璧な仕上がりにならなかったのですが、私が担当した

長年にわたり旭紙工の発展に貢献してきた有松さん。これからも有松さんは、目標に向かって力強く歩み続けていくことでしょう。



▲第2工場の人々と

で残業する日もありません。

あるとき、フォークリフトを運転中にうっかり居眠りをしてしまい、操作を誤って、材料の山を崩してしまいました。自分以外にスタッフは誰もいなかったため、一人で元の状態に戻りましたが、あれは非常に怖かったですね。周囲に対して受け身な姿勢だったのがよくなかったのだと学び、それ以降は、いろんな人と調整してうまく材料を整理できるようにになりました。

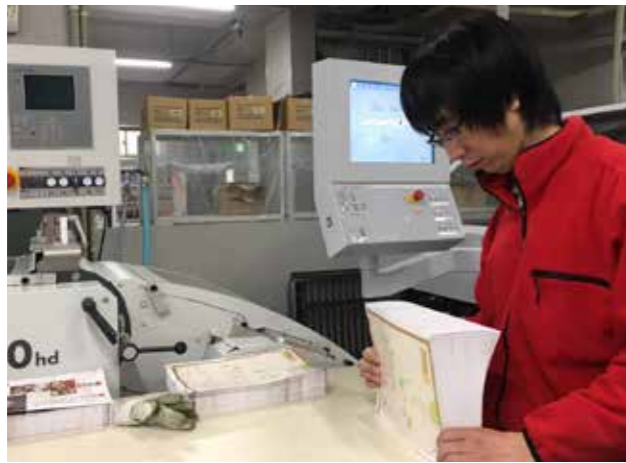
「現在のお仕事の内容を教えてください。」

紙の裁断、折り込み、のり付けなどの無縁とじ業務に携わりながら、管理者として一般的なマネジメントも行っていきます。

「第2工場に配属されたのはいつ頃ですか。また、その当時の苦労されたエピソードをお聞かせください。」

第2工場には立ち上げ当初から在籍しています。当時は無縁とじを扱ったことがなかったため、社外から講師を招いて、教わりながら仕事をしていました。

苦労したのは、工場内の整備でしょうか。その頃から、工場内の材料の管理を担当していたのですが、スペースがない上に量も膨大だったため、うまく管理ができなかったんです。次の日までに作業を終わらせる必要があったので、夜中の2時頃ま



▲新しい折り機を使用しての製本

「部下の皆さんにはどのようなことを期待されていますか。」

工場に勤める人の多くは、高校を卒業してすぐに働き始めるので、は

「どんなときにお仕事のやりがいを感じますか。」

やはり売り上げが良いときです。第2工場で働き始めてからは、無縁とじの仕事がやりがいになっていきます。どんなことでも楽しめる性格なんです。自分が関わる仕事には無知のままではいられない性分なので、何でも深く考えてしまうんです。

「最後に、今後の目標を教えてください。」

新工場の立ち上げを成功させることです。これまでの実績が評価され、立ち上げメンバーに選ばれました。無縁とじ用の新しい折り機が導入されたので、第2工場をきちんと運営しながらその機械の操作をマスターして、他の人たちに機械の使い方を教えられるようになりましたですね。

### 企業情報

- ◆ 創 立 年：1983年1月
- ※ 創 業：1963年
- ◆ 年 商：15億円
- ◆ 従業員数：200人

※ 2018年12月実績

# The FOCUS

## チーム物流 編



私が  
紹介します

物流部 課長  
仲尾 洋人さん



### メンバー構成

管理者	仲尾	アルバイト	井上・黒木
リーダー	峯		津守・仙波
正社員	淀水・山本		鈴木・林

### 業務内容

- (1) お客様の印刷物を運んでくれるトラックを荷受けし、各部門へ提供していく入庫業務があります。
- (2) 得意先様へ商品を届けるため生産部で出来た製品を自社トラックに積み込んだり、引取りに来られたトラックに製品を積み込む出庫業務と、路線便を使用しての発送業務があります。さらに生産部で必要な仕掛品を各フロアや各機械まで運ぶ、完成した製品を出荷場所へ移動させる社内物流や、製品を倉庫で出荷日や種類別に保管・管理する業務があります。午前中が特にトラックが集中するので、リーダーを中心にチーム一丸となって業務しています。

### 強み

10 t車、4 t車、1 t車と3台のトラックを活用し、お客様のニーズに対応しています。全国の製本会社で10 t車を所有している会社は珍しく、大阪では旭紙工しかないと思います。



### 取り組み

お客様から刷本が入荷したら、伝票と現物を確認してからバーコードリーダーにて、入荷情報を次工程に判るようにしています。

以前は刷本が入っているのか、入ってきていても連絡が無いから作業が遅れる、どこにあるのか分からないなど生産部の作業効率を悪くしていました。

今は紙工姫で入荷している製品は予定表の色が青色から紫色になるので一目で判ります。今後はもっとリアルタイムにすることで生産部の効率向上に貢献します。



### チーム物流 影の活躍者②

新工場の移設にあたり特に懸念されていたのがモノの流れでした。新工場は3階建ての建物で人が移動するエレベーターと階段しかなかったので、モノを運ぶエレベーターが必要でした。そこで、2018年の3月から設備の見学に行かせてもらい、設置・稼働に至るまで仲尾課長が手配し搬送機を購入。価格も2千5百万円と、とても高額です。9か月の月日を経て11月24日に1号機、12月25日ようやく2号機が導入されました。

### 「工場内で一番働く、 昇降搬送機 1号機・2号機」



基本は1号機は2階・3階に半製品を上げる専用機、2号機は完成品や半製品を2階・1階に降ろす専用機です。モノが載った状態で止まっていれば、物流メンバーが率先してモノを降ろすのと、2階・3階の場合は生産部でリフトを運転できる方にも協力してもらって、新工場全体でモノがスムーズに流れるようにしたいです。昇降搬送機以外にモノを運ぶ手段がありません、毎日、元気に活躍してもらうために安全に大事に使用しましょう。



### チーム物流

### 影の活躍者①

鈴木さんはガードマンとして、老若男女に関係なく幼稚園児、保育園児から学生、サラリーマン、ご年配の方まで幅広く愛されています。その理由は毎日、通勤通学ラッシュ時、帰宅時に『おはようございます』、『いってらっしゃい』『おかえり』と近隣の方や、会社の前を通り通学される方に大きな声と笑顔で挨拶してくれているからです。

### 「旭紙工の顔

### ガードマン鈴木さん」

以前、近隣の高校に挨拶に行った際に、担当の先生から「旭紙工さんガードマンさんの挨拶は気持ち良いですね」と言われたこともありました。弊社のイメージアップにも大きく貢献して頂いている方です。

私も鈴木さんを見習って、どなたにでも気持ちの良い挨拶を出来るようにしたいです。

(品質保証部 田淵より)

